

経営理念

行動の原点
変化に期待するのではなく
己の力で未来を拓く



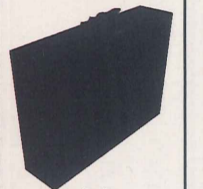
事業内容

地域の中にあるまだ十分活用されていない資源を活用することで、地域の中に雇用と所得を生み出し、持続可能な地域再生の実現を目指します。また、地域に残る豊かな自然環境を活用し、地域内外の人たちに安らぎを提供したいと思えます。



発行所 ばうむ合同会社
高知県長岡郡本山町助藤 1372
0887-76-3355 〒781-3609

商品名は「Kino-ko」?



新商品発売!?

新年明けまして

おめでとぅございませう

今年もよろしく

お願い致します

ばうむ合同会社の活動実績

- 平成22年2月 ばうむ合同会社設立
- 3月 ばうむ設立総会
- 3月 であい博 3万個のストラップ納品
- 5月 田んぼアート 田植えへの参加
- 6月 9日 土佐経営塾開講 23日 修了式
- 7月 四国銀行カーボンオフセット定期預金 景品採用
- 7月 「SLOW」開催
- 8月 まるごと高知(銀座)での販売開始
- 8月 土佐テラスグッズのブースができる
- 9月 三越日本橋本店、高島屋での販売開始
- 9月 棚田コンサート 実行委員
- 10月 香川県ウッドフェスティバルへの参加
- 10月 「おきゃく」スタート
- 11月 まなびビア高知2010への参加
- 12月 カーボンオフセットへの取り組みスタート



平成23年に向けての...

業務執行社員の十一人の有志 ばうむ 個人的ひと言コメント

昨年二月に無事法人登録ができ、ばうむ合同会社としてスタート致しました。出資者の方々、本山町の皆様には大変お世話になりました。ばうむ合同会社は本山町の商工業者二代目三代目の後継者が創った会社です。昨年はおかげさまで東京の大手デパートからの受注など県外にも進出することができました。今年からは、色々な人とのコミュニケーションをとりつつ、新たな地域資源をさぐり、生産者主導の元に新しい事業展開を積極的に取り組んでいきたいと思えます。



森 圭氏

去年の2月から、ばうむは合同会社になり、以前よりもさらに地域活性化をはかるためのビジネス活動に取り組めたのではないかと感じています。去年は特に慶応義塾大学と協力して取り組みだ「土佐経営塾」に力を入れてきました。今年からは準備段階である焼酎づくりや農産品の加工、地域でのデザイン業務などに力をつけていきたいと思います。



藤川 豊文氏

商品の提案や搬入のサポートなど、引き続き地域材を利用して商品の幅を増やしていきたいと思えます。今年からは主に嶺北地域の各学校に学習機の納品をしています。今年からは新たに商品の提案や、営業に力を入れ、さらに地元で雇用を増やすとともに、私自身も新たなことにチャレンジしていきたいです。



高名 剛氏

昨年はお客さんの支えられ、助けられ、人の温かみを感じる事の多い一年でした。今年も人と人との絆を大切に、さらにたくさんの方々とつながり、共に自分自身も地域貢献や地域経済を刺激していきたいと思えます。



門田 恵美氏

ばうむ合同会社で主に小学校などに納品する机や家具などの木製品の製造を担当しています。去年に引き続き今年も未永く使用していただけて木製品を作っているだけでいいと思っています。



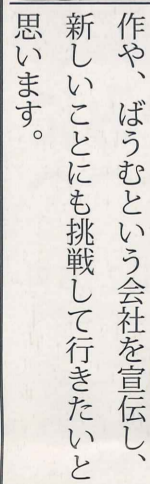
山中 晴介氏

昨年は無事ばうむが合同会社となり、以前よりもさらに大きく事業展開をすることができました。また私自身地域外への学習機の宣伝や事業に取り組んでくれたのではなにかと思えます。今年からはさらに学習機の制作や、ばうむという会社を宣伝し、新しいことにも挑戦して行きたいと思えます。



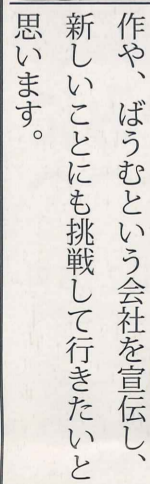
松葉 晶夫氏

昨年はお客さんの支えられ、助けられ、人の温かみを感じる事の多い一年でした。今年も人と人との絆を大切に、さらにたくさんの方々とつながり、共に自分自身も地域貢献や地域経済を刺激していきたいと思えます。



上地 正人氏

昨年はお客さんの支えられ、助けられ、人の温かみを感じる事の多い一年でした。今年も人と人との絆を大切に、さらにたくさんの方々とつながり、共に自分自身も地域貢献や地域経済を刺激していきたいと思えます。



川村 太志氏

ばうむでは主に商品の在庫づくりやサポート業務などを行っています。ばうむの業務執行社員として地域活性化の手伝いをするにより、自身を高めることが出来ると思えます。今年からはレーザー加工機の操作や、木の性質をさらに研究したり、色々な人に会い自分を高めていき、ばうむと地域貢献や地域経済を刺激していきたいと思えます。

面紙の紙
業務執行社員に聞いた個人的ひと言コメント
平成二十二年 ばうむの動き
平成二十二年 ばうむが参加した本山のイベント

お店の紹介などもオッケー
月刊ばうむで何か伝えたいことはありませんか?
お問い合わせはこちらまで
発行所 ばうむ合同会社
高知県長岡郡本山町助藤 1372
0887-76-3355 〒781-3609

「もくレース」東京進出

平成22年ばうむの動き

今年の猛暑厳しい八月、ばうむの目玉商品のひとつ「もくレース コースター」が、東京に進出を果たした。デザイナーを募集した間伐材をどうにか地域の間伐材を使って表現できないかということから考案された商品である。その商品がまず県内に注目され始めたのはおととしの7月上旬で、高知新聞の夕刊に写真付きで掲載されたことにより、四国四県の各新聞がもくレースコースターの記事に掲載したことに始まる。

偶然その記事を見た帯屋町にある「プランタン」という雑貨店



東京の三越で販売されるもくレースコースター

もくレース、知名度大

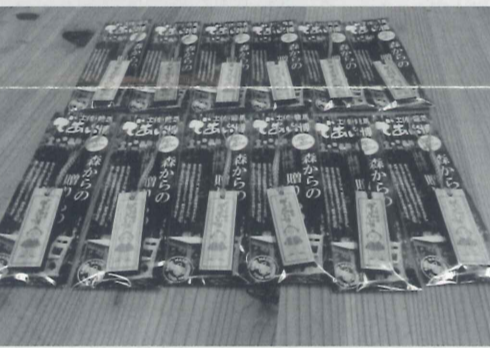
のオーナーである弘田氏が商品パッケージをさらに洗練されたデザインに変更して店に置いてほしいという話をばうむに持ちかけた。そしてデザイナーに依頼をしてパッケージを変更し、店に置いたところ客の間で評判となった。さらにはコースターのサイズの

バリエーションを増やして、東京の三越や高島屋などの大手デパートに商品を置いてもらうという提案をしたところ昨年の八月より「もくレース」を三越、高島屋の両デパートに置くことが決まった。その後ももくレースコースターは昨年の十二月までに三越で九七五枚、高島屋では八五六枚を売り上げるほどの大好評であった。もくレースが東京に進出する際には高知新聞やテレビ局が取材に訪れ、以前にも増してばうむの商品が地域内外にも知れ渡ることとなった。

現在もくレースは新たに商品の幅を広げ、ティッシュケースやペン立て、フォトフレームなどのあらゆる商品が登場しており、それらの商品も二十代、三十代の女性を中心に注目されつつある。もくレース制作者は「自分が作った商品を気に入って買ってくれる人がいるということがとてもうれしい、これを機会にばうむという会社がさらに県内外へ進出できればいいと思います」と語っている。

ばうむ、土佐龍馬であい博に3万個のストラップ

昨年、高知県では大河ドラマ「龍馬伝」が全国的にブームをよび、あらゆる龍馬関連の商品が多数販売された。そのブームと同時期に高知県では「土佐龍馬であい博」というイベントが開催され、その会場ではばうむのストラップ三万個が配られた。それはよさこいの時期で賑わいを見せるおととしの八月、高知県のあい博推進課にストラップを置いてもらいたいという提案をしてきたところ、であい博推進課から3万個のストラップの受注があったというものである。そのストラップの納期はであい博が始まるまでの五ヶ月間と非常に短く、その間に三万個という膨大な量を製作して欲しいというものであった。



であい博推進課から受注があった龍馬キャラクターのストラップ

ストラップ、受注から納品へ

ストラップの製作にはばうむのメンバーのみならず、業務執行社員総出で行った。特にストラップはヒモ付けや袋詰めをしなければならぬため、メンバー全員で一ヶ月以上徹夜をした。自宅に持ち込んで作業にあたり、その作業が終わると今度は段ボールにできた物をまとめるという作業を繰り返し行い、翌年の3月、ようやく納品することができた。メンバー全員の苦勞の甲斐もありストラップは会場のみならず全国各地で配られ、ばうむ自体の大きな宣伝効果にもつながった。

平成二十二年 ばうむが参加した本山のイベント「れいほく風のカフェ SLOW」

毎年、七月の清流マラソンで賑わう吉野クライミングセンターで昨年初めて同時開催でゆったりとした空間を参加者に感じてもらうというコンセプトのもと「れいほく風のカフェ SLOW」が開催された。このイベントは本山町の実行委員会の依頼により行われたもので、嶺北各地の店が出店し、癒しを中心にゆったりとしてもらう空間を提供した。Tシャツも作製し、マラソン参加者からはとてもかわいという意見が多く、大変好評であった。

訪れた人はのべ四〇〇人と大盛況で、また開催してほしいという意見が多くあった。

田んぼに龍馬、出現

木々が青々と茂る五月、特産品ブランド化推進協議会主催の元、突如田んぼにであい博キャラクターの龍馬が出現した。これは土佐天空の郷のPRイベント「天空アート」で、その苗植えには地域内外、遠くは三重県からの参加があり、苗植えを通して交流をはかった。ばうむは天空アートのデザインを手掛けており、今年も天空アートを行うかは現段階では検討中である。



れいほく風のカフェ SLOW

苗植えをする参加者たち

「おきやく」に新たな動き

人とのつながりが減った、地域外の人と交流をしたい。これは月一回住民が参加しての本山町産業戦略会議で出された意見である。この戦略会議の事務局には、ばうむのメンバーも加わっており、この二つの意見を形としたのが「おきやく」である。おきやくとはさまざまな世代が参加し、誰でも気軽に参加できる高知県ならではの宴会のことです。このおきやくをツーリズムとして実施したものが「本山のおきやく」である。これは時期によってプログラムを変えており、その第一回は昨年の十月に沢ヶ内の清流館で行わ



「森のおきやく」の出し物のひとつ「はし茶講座」の様子

撮影 ばうむ合同会社

れた「農家のおきやく」で、「稲刈体験+おきやく」という地域性を活かしたもので、第二弾、第三弾は十一月、十二月に行われた「間伐体験+おきやく」の森が実施されており、地域外や地域の人を含め合計五十名以上の方が参加している。第四弾、第五弾の「椎茸のおきやく」についても一月と二月に開催予定で、「これからも続けていきたい」と参加しているばうむのメンバーは語る。

経営で市町村を越えた「つながり」

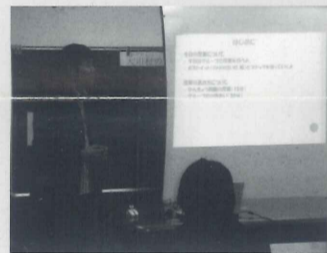
ばうむでは二〇〇九年より文部科学省の予算をいただき、慶應義塾大学と共に企業の経営方法を考えるビジネススクールを3年間全国各地で行っている。インターネットを利用したテレビ会議で全国5カ所で行っており、今回は高知県で開催された。このビジネススクールはケースメントと呼ばれる事例を通して経営に関する判断力や知識を養うという教育プログラムで、参加者は土佐市役所の有志の方々と本山町地域おこし協力隊十名が受講している。ばうむはそのサポートという形で参画しており、個人の経営のレベルアップはもちろん、市町村を越えたつながり作りの一役かっている。今年も高知県で開催する予定で、本山町在住で興味のある方はぜひ参加してみるのがいいかもしれない。



テレビ会議中の地域おこし協力隊

お山の1日先生派遣

現代社会において地球温暖化やエコに関する環境問題が騒がれる中、環境と主権を兼ねたいという教育の一環としてばうむのメンバー主催による「お山の1日先生の派遣」などを行っている。それは高知県の森林環境税を活用し、嶺北地域の小中学生に環境教育を授業として行うというもので、昨年の



小中学生に講義をするばうむの井上氏 (11月 大川小中学校)

十月月上旬から小中学生を対象に行っている。昨年は大川村と本山町で環境教育の事前授業を行っており、特に小学生の環境問題への意識の高さには驚いた。またこれから森の未来と子供達の未来を考えたという事業にしたいという。環境教育には椎茸のコマ打ち体験や地域材を使用した木工製品の制作など豊富なメニューがあり、今後はばうむでもすでに販売している学習机と環境教育をセットで販売していく方針である。

吉延の棚田コンサート

残暑がまだまだ残る昨年の九月、吉延の棚田では全音のシンガーソングライター堀内佳氏を迎えて「棚田コンサート」が行われた。主催はブランド化推進協議会と吉延農産組合で、ばうむはスタッフとして参加した。このイベントは一年前から吉延の方々が棚田の調整をし、計画したもので、当日は高知市や南国市の方を含め約二〇〇名の聴衆が棚田に集まった。コンサートは全十二曲のギターの弾き語りで行われ、吉延の棚田から観える絶景と堀内氏のやさしい歌声がマッチした素晴らしいイベントとなった。



棚田からの絶景とコンサートの様子

ばうむの商品のススメ

もくレース ペン立て

もくレース柄のペン立てで、ちょうどペンを立てやすい大きさの約10センチ。全体が木のためとても軽く、ほのかに木のあたたかみを感じる一品。

高さ 100mm × 幅 85mm

ディスプレイのアクセントに最適

¥1,575 消費税込み

住宅用 薪ストーブ

過快ご適の冬

高さ 71.5cm
幅 36cm
奥行き 75cm
重量 70kg

価格 税込¥126,000-

木製ストラップ

企業ロゴ お名前印字

価格もお手軽

様々な形のストラップが作成可能

最小ロット 100個～
単価 ¥200～

もくレース ティッシュケース

木のあったかみに包まれて...

税込 2,625円-

高さ80mm 幅130mm 長さ260mm

●下記の商品をお求めの際ははこちらまで。

ばうむ合同会社
高知県高知市本山町助産 1372
0887-78-3055 781-3009

